

事業所名

児童発達支援事業（カンガルー教室）

作成日

令和6年

2月

27日

法人（事業所）理念		社会福祉法人 富山市桜谷福祉会 「手をそえ・目をそえ・心をそえ」～こども一人ひとりの発達と家族の幸せを願って～						
支援方針		・個別支援計画を作成し、定期的に見直ししながら支援内容を調整します。その中で、一人一人の発達や特性に合わせ、適切な環境と関わりを提供しながら成長を促していきます。						
営業時間		8時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	○子どもたちが日常生活の自立に向けて健康面の維持と生活習慣の向上を目指した支援を行います。 ・運動遊び（ボール遊び、体を使った遊びなど）を通して、楽しみながら体力の向上、柔軟性や筋力の向上を図ります。 ・排泄、手洗い、身だしなみ、おやつ、整理整頓など生活習慣や衛生面に関することを遊びの中や日常生活の学習の機会を利用し、経験を積みみます。						
	運動・感覚	○身体の動かし方を学び、粗大運動や巧緻運動を通して、日常生活の動作をスムーズに行えるよう支援します。 ・全身を動かす粗大運動を通して、バランス感覚や走る、ジャンプ、片足跳びなどの運動機能を高めます。 ・巧緻運動では、はさみや鉛筆、紐通し、トンク、スプーン、箸等の活動を通して、指先の細かい動きや手の力を調整する等、日常生活に必要な動作の支援を行います。						
	認知・行動	○考える力や記憶力、注意力を高めるとともに、場面に応じた行動ができるよう支援します。 ・机上課題（プリント、ジオボード、タングラム等）を通して考える力、注意力、集中力を高めていきます。 ・活動の中で行動の流れを順番に覚えたり、2つ以上の指示を理解し行動に移すことができるよう支援します。 ・教材の工夫や環境設定を行い、着席の持続や話し手への注目、話を聞く姿勢等を身につけられるよう支援します。						
	言語 コミュニケーション	○自分の気持ちや考えを表現し、周囲と適切なコミュニケーションを取れるよう支援します。 ・当番活動など、設定された場面の中で「どうぞ」や「ありがとう」等のやりとりを身につけていきます。 ・表情カードやSSTカードを見ながら、相手の気持ちを考え、適切な関わり方を学んでいきます。						
	人間関係 社会性	○小集団活動を展開する中で、他者との関わり方を学び、円滑なコミュニケーションがとれるよう支援します。 ・挨拶や返事の習慣化、表情カードやSSTを通して相手の気持ちを考える経験を積んでいきます。 ・集団遊びを通して、順番を待つ・譲る等、ルールを守る意識を育てます。 ・怒った時の感情のコントロールの仕方や困った時の対処の仕方等を学んでいきます。（アンガーマネジメント） ・チームでの活動を通して、協力して取り組む経験を積んでいきます。						
家族支援		○日々の心配ごとや困りごと等の相談に関して、家庭で取り組めることを提案したり、具体的な関わり方等を助言します。 ○就学説明会を行い、就学の流れの説明や就学に向けての相談を受けます。 ○ペアレントトレーニングを実施します。			移行支援		○子どもの支援に関わる保育所等訪問、児童発達支援、相談支援専門員、就園・就学先等、関係機関と情報共有をしていきます。 ○就園や進級、就学など、お子さんが新しい生活にスムーズに移行するために、支援の引継ぎやアフターケア等を行い、就園、進級、就学後の生活についてサポートします。また、必要に応じて移行先の関係機関と連携を図り、適宜適切な支援を行います。	
地域支援・地域連携		○保護者の承諾を得たうえで、必要に応じて電話や訪問等を行い、関係機関と連携を図っています。			職員の質の向上		○職員のスキルアップのため、事業所内・外の研修に参加しています。専門的な研修を通して、最新の知識と実践的なスキルを学んでいきます。	

主な行事等

(プレスクール)

・年長児を対象に、元教員と一緒に小学校の授業体験を行います。通常級や支援級の授業を体験することで小学校をイメージし、小学校に向けての期待、憧れ、意欲を引き出します。また、学校・学級選びの手がかりにもなります。

(縄跳び教室)

・作業療法士が考えたプログラムをもとに、CO-OPという手法を用いて取り組みます。子ども自身で目標を設定し、上手くできない時に原因を分析し、作戦を立てて練習を行います。子ども自身の問題解決能力を育むことで、活動のスキルを習得できるよう支援します。

(その他)

・ランドセルのかつぎ方や雨合羽の着方・たたみ方、連絡帳（下敷き等）の使い方、プリントの連絡袋へのしまい方など、小学校生活に向けての技能が習得できるよう支援します。